

確かな学力向上推進プラン

江戸川区立瑞江第二中学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：都学力調査における前年度の東京都の平均点を超える割合																		
教科	平成30年度 結果		平成31年度 目標値		平成31年度 結果		平成32年度 目標値		平成32年度 結果		平成33年度 目標値		平成33年度 結果		平成34年度 目標値		平成34年度 結果	
国語	18問	70%	19問	75%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
社会	16問	56%	17問	61%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
数学	13問	48%	15問	54%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
理科	14問	52%	15問	58%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
英語	14問	53%	15問	58%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	・試験前補習教室（国、数、英、社、理）の充実	・試験前補習教室（国、数、英、社、理）の充実	・試験前補習教室（国、数、英、社、理）の充実	
論点2 学習規律の徹底	・提出物、課題提出の徹底	・家庭学習ノートの取り組み指導の徹底	・提出物、課題提出の徹底	・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 55%以上
論点3 生活習慣の確立	・デイリーライフの活用 ・生活習慣改善シートの活用	・デイリーライフの活用 ・生活習慣改善シートの活用	・生活ノート（タイムくん）の活用 ・生活習慣改善シートの活用	・毎日同じくらいの時間に起きていますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 98%以上
論点4 家庭学習の指導の充実	・家庭学習ノートの実施、取り組み徹底	・家庭学習ノートの実施	・家庭学習（受験のための勉強含む）の取組の徹底	・家で、学校の宿題をしていますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 95%以上
論点5 言語に関する指導の充実	・コの字型机配置を生かした学びあい学習の充実	・コの字型机配置を生かした学びあい学習活動の充実	・コの字型机配置を生かした学びあい学習活動の充実	・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 85%以上
論点6 教員の学習指導力向上	・年2回の全体研修会に加え年2回の教科別授業研修会を実施する。教科別授業研修会では全員が授業をビデオ撮影し、意見交換を行い、授業力の向上に努める。	・年2回の全体研修会に加え年2回の教科別授業研修会を実施する。教科別授業研修会では全員が授業をビデオ撮影し、意見交換を行い、授業力の向上に努める。	・年2回の全体研修会に加え年2回の教科別授業研修会を実施する。教科別授業研修会では全員が授業をビデオ撮影し、意見交換を行い、授業力の向上に努める。	・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 80%以上

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きの練習や漢字小テストの時間を設け、反復練習をさせて、基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書き、互いに相互評価することで、考えをさらに深める活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えについて、文章の構成や内容、表現方法に着目し、主張が明確な文章を書けるよう指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、教員の話聞く場面、話し合いを進める場面のルールを身につけさせる。 小テストの時間を設け、基礎基本の定着を図る。 1つの資料から適切な内容を読み取る力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストの時間を設け、基礎基本の定着を図る。 複数の資料を関連付けて、適切な内容を読み取る力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストの時間を設け、基礎基本の定着を図る。 複数の資料を関連付けて読み取った内容に、自分の考えを加えて表現できる力を身に付けさせる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算能力の定着。 学び合いによる授業形態の定着。 習熟度別クラスでの個に応じた指導の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的計算を繰り返し取り組むことで、基礎的・基本的事項の学習に取り組む。また、eライブラリアドバンス等を活用し、話し合い活動を取り入れながら実践的な問題に取り組み、学びの意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期計算コンテストを実施し、基礎的・基本的事項の学習状況を把握する。これをもとに、発展課題を取り組ませ、活用する等の学びの意欲を高める。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、教員の話聞く場面、話し合いを進める場面のけじめをつけさせる。実験では、実験室を使うルールを徹底させる。ノートのまとめ方、プリントの活用の指導を加える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い学習が有効に活用されるよう、質問する側、説明する側の役割分担を考えさせる。実験を行って、その結果をまとめ、そこから分かったことをレポートしてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い学習がより有機的に機能するために、自分の役割を認識させる。実験結果から分かった事実と、そこから導き出せる結論が何かを考えさせる。実験レポートをしっかりと提出できるよう指導する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱、創作、器楽など、バランスよく学習することによって、音楽表現の基礎基本を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱、創作、器楽など、バランスよく学習することによって、音楽の技能を身につけ、音楽表現の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱、創作、器楽など、バランスよく学習することによって、楽曲に対する自分の思いや意図をもち、表現する能力を身に付けさせる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> デザインや絵、彫刻を造る活動を通じて、主題の生成や基本的な表現技法を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題を自ら生成する活動を通じて、主体的な表現活動を充実させて、自ら表現技法や材料用具を選択し、創造的な技能の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題を自ら生成する力を身につけて、表現技法や材料用具を工夫することで、主体的な表現活動と創造的な技能の向上を目指す。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動・体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりでは「設計」に取り組む、「技 わざ」と同様に「テクノロジー」を重視した取り組みにする。それにより、技術を活用しようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や家族の生活について関心を持ち、基礎的な技術を身に付け、進んで活用する指導をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べる」「解決する」活動を通して学んだ知識や技能を家庭や社会でどのように生かしていくか「考える」活動を通して、技術・家庭科の学びの意欲を高める。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な単語や文法項目を定着させ、それらを活用して自分のことについて話したり、書いたりできることを目指し、指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して、スピーチ発表をしたり、調べたことについて簡単なレポートを書いたりできることを目指して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して、ある程度まとまった長さの文を読んで理解したり、その内容についてディスカッションをしたり、書いたりすることができるように指導する。